

山口県感染症発生週報

(第46週:平成24年11月12日～11月18日)

1 全数把握感染症

【2類感染症】

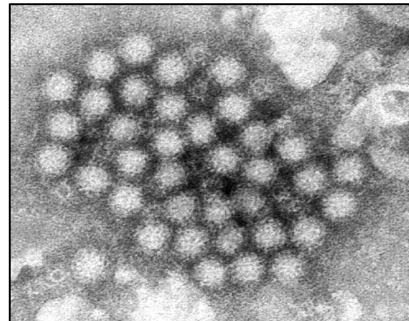
◆結核: 第46週: 5例(下関、宇部4)。

【4類感染症】

◆ Dengue熱: 第46週: 1例(山口、推定感染地域: インド)。

【5類感染症】

◆ア메ーバ赤痢: 第46週: 1例(周南)。



ノロウイルス CDC/ Charles D. Humphrey

2 定点把握感染症(5類感染症)

(1)特記事項

◆インフルエンザ: 宇部から2例報告がありました。迅速検査ではいずれもA型です。

◆RSウイルス感染症: 例年冬期に流行がみられますが、今年はかなり早い時期から流行しています。第34週(8/20～8/26)から第38週(9/17～9/23)まで急激に増加し、第41週(10/8～10/14)以降4週続けて減少していましたが、先週と今週は再び増加しています。全国的にも例年の同時期と比較して多い状況で推移していますので、引き続き乳幼児を中心に注意が必要です。

◆A群溶血性レンサ球菌咽頭炎: 増加傾向がみられます。地域別では山口、周南が多くみられます。

【警報レベル=山口(8週目)】※

◆感染性胃腸炎: 増加傾向がみられます。長門は今週警報レベルとなりました。冬季はウイルスを原因とした感染性胃腸炎が流行しやすいので、今後の動向に注意が必要です。【警報レベル=長門(新)】※

※警報レベル・注意報レベルの基準値詳細についてはHPをご覧ください。
<http://kanpokken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/report2012/keihotyuuuiho.php>

(2)週別発生状況

疾患名	44週	45週	46週	疾患名	44週	45週	46週
インフルエンザ	1	3	2	百日咳	1	0	0
RSウイルス感染症	67	87	95	ヘルパンギーナ	15	16	12
咽頭結膜熱	4	9	7	流行性耳下腺炎	11	6	9
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	142	171	209	急性出血性結膜炎	0	0	0
感染性胃腸炎	245	395	529	流行性角結膜炎	1	7	4
水痘	56	72	72	クラミジア肺炎	0	0	0
手足口病	2	6	4	細菌性髄膜炎	0	1	0
伝染性紅斑	4	1	1	マイコプラズマ肺炎	14	13	2
突発性発しん	33	50	41	無菌性髄膜炎	0	0	0

(3)地域別発生状況

疾患名	下関	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	長門	萩	全体
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
RSウイルス感染症	13	14	3	7	2	9	26	15	6	95
咽頭結膜熱	2	0	0	1	1	0	0	3	0	7
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	29	4	1	63	3	71	27	7	4	209
感染性胃腸炎	74	60	6	133	21	87	83	45	20	529
水痘	15	0	4	17	2	17	6	11	0	72
手足口病	3	0	1	0	0	0	0	0	0	4
伝染性紅斑	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
突発性発しん	15	3	0	7	1	5	2	7	1	41
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	11	0	0	0	0	1	0	0	0	12
流行性耳下腺炎	0	0	5	3	1	0	0	0	0	9
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	2	1	0	0	1	0	0	0	0	4
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0